

# 後場 各課紹介 建設課

⑥

建設課には、管理係と工務係の二つの係があり、男性九名、女性一名の計一〇名で構成されています。

職場は男性臭さがポンプと漂っていますが、ファイトと明るさに満ちあふれている当課を紹介してみましよう。

## 管理係

企業団や業者に連絡し、修理の段取りを行う。

一方では公図に三角スケールをあてて、道路幅員は四メートル。A地点とB地点の距離は三〇メートル。今日は現地での境界確定日である。

## 工務係

机上狭しと、マイラー原紙をひろげ、昭和六十三年度執行計画に基づいた道路舗装、道路改良工事を施工する設計図面を、それぞれの担当者が目と図面の間隔が五センチメートルしか離れなく、規格にあてはまった小さな数字を、

しばらく後、調査に行った職員の報告で、建設課の職員では対応が出来ず、八匝水道受話器を切る。

図面一杯に整然と並べ、せつせと作業をしている。「設計図面が完了したので、県庁へ事前協議に行ってきた」と、早々と職場から出かけて行く。

## 管理係と工務係

日市場土木事務所と、密に連絡を取り合い、完璧な仕事を目ざし、日々努力しています。

管理係：「改良工事なので、買収面積、工事の方法などで、地権者からいろいろと質問があるので、境界確定終了後、説明会を工務係の方で開いてもらえないかなあ」

工務係：「町道〇一〇三号線の道路線形の図面が終ったので、管理係の方で、境界確定の日を決めて、もらえないかなあ。」

管理係：「了解しました。」

管理係：「改良工事なので、買収面積、工事の方法などで、地権者からいろいろと質問があるので、境界確定終了後、説明会を工務係の方で開いてもらえないかなあ」

工務係：「日中は、なかなか人が集まりにくいから夜にするので、管理係も都合しておいて。」

管理係：「用地買収、登記はまかせなさい。」

工務係：「いい道路を造るからお互い頑張ろう」



悪路に碎石を敷き道路整備する職員

## 主な工事

- 海岸道路整備事業（白磯から旧光荘までの約三五〇m）
- 自転車歩行者道整備事業（篠原地先の約六七〇m）
- 舗装工事（二路線、桑郷地先。長塚地先から辻地先。芝崎地先等約二、三〇〇m）
- 改良工事（二路線、白磯、関各地先。計、約七八八m）
- 直営舗装（町内一円）
- 維持工事（虫生地先）